

秋葉区社協だより

Vol. 53
2026.7.19 発行

支えあい、ともに笑顔でくらすまち



新津西部地区活動紹介

町内会と障がい者施設 ぽっとサポートしんえいとふれあい交流
『新栄町・新津緑町支え合い移動支援』



地域の茶の間「しゅかりり体操ふれあいクラブ」

令和5年10月からスタートした「支え合い移動支援」の取り組みは、地域住民が互いにつながり合う大切な交流の居場所（地域の茶の間など）へ安心して通えるよう、町内にある施設「ぽっとサポートしんえい」と新栄町、新津緑町とが連携して活動しています。高齢により会場まで歩いて行くことが困難な方、家族による送迎が困難な方の声から、町内会と「ぽっとサポートしんえい」と相談を重ねて実現しました。

施設利用者も同乗し、踏み台設置のサポートや居場所に参加するなど交流も進んでいます。「支え合い移動支援」で新たな接点ができ、これまで以上に施設と地域の良好な関係も築かれていくものと確信しています。

（代表）新栄町町内会 会長 野原 修

目次

- P2 特集インタビュー、ボランティア情報
- P3 区社協福祉推進会議報告・地域福祉活動計画について、ふれあい福祉サービス、秋葉区社協予算及び決算
- P4 社協会員会費納入のお願い、各種助成のご案内、寄付



社会福祉法人
新潟市社会福祉協議会
秋葉区社会福祉協議会

「ひきこもりは決して珍しいことではなく、誰にでも起こりうること」。新潟市ひきこもり相談支援センターの方はそうおっしゃいます。全国で推計146万人がひきこもり状態にあるとされており、それは決して「隠さなければならぬ特別なこと」ではありません。しかし、ご家族だけで抱え込んでしまい、どこにも相談すればいいか分からず悩んでいるケースは少なくありません。

誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、まずは「知るから」から始めてみませんか。今回は、日々ご本人やご家族の声を耳を傾けている新潟市ひきこもり相談支援センターの佐藤美奈子センター長に、今の相談現場の様子や、ご本人・ご家族に寄り添うためのヒントをお聞きしました。

「ひきこもりは決して珍しいことではなく、誰にでも起こりうること」。新潟市ひきこもり相談支援センターの方はそうおっしゃいます。全国で推計146万人がひきこもり状態にあるとされており、それは決して「隠さなければならぬ特別なこと」ではありません。しかし、ご家族だけで抱え込んでしまい、どこにも相談すればいいか分からず悩んでいるケースは少なくありません。

誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、まずは「知るから」から始めてみませんか。今回は、日々ご本人やご家族の声を耳を傾けている新潟市ひきこもり相談支援センターの佐藤美奈子センター長に、今の相談現場の様子や、ご本人・ご家族に寄り添うためのヒントをお聞きしました。

「ひきこもりは決して珍しいことではなく、誰にでも起こりうること」。新潟市ひきこもり相談支援センターの方はそうおっしゃいます。全国で推計146万人がひきこもり状態にあるとされており、それは決して「隠さなければならぬ特別なこと」ではありません。しかし、ご家族だけで抱え込んでしまい、どこにも相談すればいいか分からず悩んでいるケースは少なくありません。

誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、まずは「知るから」から始めてみませんか。今回は、日々ご本人やご家族の声を耳を傾けている新潟市ひきこもり相談支援センターの佐藤美奈子センター長に、今の相談現場の様子や、ご本人・ご家族に寄り添うためのヒントをお聞きしました。

「ひきこもりは決して珍しいことではなく、誰にでも起こりうること」。新潟市ひきこもり相談支援センターの方はそうおっしゃいます。全国で推計146万人がひきこもり状態にあるとされており、それは決して「隠さなければならぬ特別なこと」ではありません。しかし、ご家族だけで抱え込んでしまい、どこにも相談すればいいか分からず悩んでいるケースは少なくありません。

誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、まずは「知るから」から始めてみませんか。今回は、日々ご本人やご家族の声を耳を傾けている新潟市ひきこもり相談支援センターの佐藤美奈子センター長に、今の相談現場の様子や、ご本人・ご家族に寄り添うためのヒントをお聞きしました。

「ひきこもりは決して珍しいことではなく、誰にでも起こりうること」。新潟市ひきこもり相談支援センターの方はそうおっしゃいます。全国で推計146万人がひきこもり状態にあるとされており、それは決して「隠さなければならぬ特別なこと」ではありません。しかし、ご家族だけで抱え込んでしまい、どこにも相談すればいいか分からず悩んでいるケースは少なくありません。

誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、まずは「知るから」から始めてみませんか。今回は、日々ご本人やご家族の声を耳を傾けている新潟市ひきこもり相談支援センターの佐藤美奈子センター長に、今の相談現場の様子や、ご本人・ご家族に寄り添うためのヒントをお聞きしました。

「ひきこもりは決して珍しいことではなく、誰にでも起こりうること」。新潟市ひきこもり相談支援センターの方はそうおっしゃいます。全国で推計146万人がひきこもり状態にあるとされており、それは決して「隠さなければならぬ特別なこと」ではありません。しかし、ご家族だけで抱え込んでしまい、どこにも相談すればいいか分からず悩んでいるケースは少なくありません。

誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、まずは「知るから」から始めてみませんか。今回は、日々ご本人やご家族の声を耳を傾けている新潟市ひきこもり相談支援センターの佐藤美奈子センター長に、今の相談現場の様子や、ご本人・ご家族に寄り添うためのヒントをお聞きしました。



新潟市のひきこもり相談支援センター
佐藤美奈子センター長

【秋葉区協働のひきこもりの支援事業】

※詳しい活動報告は
ホームページをご覧ください！

●ひきこもりに関する講座（10月）

ひきこもりについて正しく理解し、遅くから見守る人が増えてほしい…そんな思いで、長岡崇徳大学の斎藤まさ子先生を講師にお招きし開催します。

●家族懇談会（8月、10月、2月）

ひきこもりの方のご家族が集まり、日頃の迷いや悩みなどを話し合ったり、家族としての家しみなどを報告し合ったりしています。和やかに温かい雰囲気は参加した皆さんの力になっていきます。

●ひきこもり支援連絡会（6月、2月）

ひきこもりの方の支援に関わる関係機関が集まり、より良い支援につながるための話し合いを行っています。専門職が互いに一歩踏み出してつながり合う関係づくりを目指します。

新潟市ひきこもり相談支援センター

〒950-0082 新潟市中央区東万代町 9-1 市民会館5階

●お問い合わせ 025-278-8585

FAX: 025-278-8584

MAIL: info@hikiikomori.org

URL: www.n-hikisan.jp

LINE: @688wremk

●開所 日 火曜～土曜（祝日、年末年始をのぞく）

●開所時間 午前9時～午後6時

●対象 新潟市にお住まいのひきこもりの状態、及びその家族等

ボランティア情報

秋葉区ボランティア・市民活動センター

活動報告

令和8年3月10日（火）13時～15時30分 新津地域交流センター3階にて令和7年度ボランティア交流会を開催しました。

オープニングは、新潟市運動普及推進協議会秋葉支部のラジオ体操、お口の体操、筋トレを参加全員で行い、次に愛踊会による踊りを見た後「舞踊体操・祝い酒」を会場の皆さんと一緒に踊りました。

令和7年度の交流会は、ボランティア活動サロン・地域の茶の間活動の取り組みを知って頂くことを目的に日ごらの活動紹介や創作した作品展示、体験ブースを設置しました。参加者は各ブースを体験したり、交流したりとあっという間の2時間半でした。この交流会で、たくさんの方が交流し、繋がる事が出来ました。



本の寄付をお願いします！「ジョブポン」

本の再利用で障がい者の就労支援をしよう!!

寄付して頂いた本は、障がい者就労施設で本の修復、再生し、ネット通販を通じて、再び必要な方に届けられます。収益は施設で働く障がい者の工資（報酬）になります。

寄付の原のチェック

- 本の裏側にバーコードがある
- コミック、雑誌もOK
- 1冊からでもOK

回収場所・お問い合わせ

就労支援事業所 メロディ
住所：秋葉区朝日142-3
電話：0250-25-7861
メール：official@melody-akiha.co.jp



ボランティア活動紹介

個人ボランティアの日

ボランティア活動の入り口として、個人ボランティアの日を毎月第1火曜 13時30分～ 新津地域交流センターにて開催しています。

不要になった綿製品を小さく切る、使用済み切手を切りそろえる、封入作業などの軽作業を行っています。気軽に参加できるボランティアです。興味のある方はぜひご参加ください。現在、綿製品が不足しています。ご自宅にある不要になった綿製品（Tシャツ、タオル、シーツなど）がございましたらきれいに洗っていただいたのち、ご寄付をお願いします。

問い合わせ

秋葉区ボランティア・市民活動センター
(0250) 24-8345



地域福祉活動計画研修(区社協福祉推進会議)を開催しました

今年は、2027年度から2032年度までの地域福祉活動計画を策定する年になります。
そこで、改めて地域の皆さんと一緒に「地域福祉活動計画」について基本を学ぶ研修を開催しました。

4月28日(火) @新津健康センター

講義の内容は…?

演題：地域福祉活動計画の果たす役割と意義

- 「地区別の計画の目的は…
①身近な隣りに早く気づき、地域の中で支え合う関係を育てること。
②①を通して地域を自分ごととして支える意識を高め、顔の見える関係づくりで、孤立を防ぐ地域を目指すこと」
- 地域福祉活動計画の策定と推進は「担い手や話し合いの循環」や「作る」から「マネジメント」の視点が重要
- 岩手県花巻市の地域福祉活動計画の例を紹介



東北福祉大学 共生まちづくり学部
森 明人 教授

講義後の意見交換では…



今後、秋葉区内11地区で、地域福祉活動によってその地域がより良くなるための行動計画策定のための話し合いを進めます。これまでの計画をふりかえり、次の計画を考える最初の大事なステップとなりました。

ふれあい福祉サービス

ふれあい福祉サービスは、住民同士の助けあい活動です。

- 利用できる方
秋葉区にお住まいで、おおむね65歳以上の方
障がい児・者、お手伝いが必要な方
- 活動内容
調理及び食事の準備、買い物、掃除、洗濯、ゴミ出し 等
- 利用日時
平日の午前9時～午後5時（ゴミ出しは、8時半までに実施）
土日祝日および12月29日～1月3日はお休み
- 利用料 1時間につき500円（ゴミ出しは30分250円）
生活保護世帯は半額です

～「困ったときは、お互いさま」そんな気持ちからつくられました～

活動いただける協力会員を募集しています!

資格等は必要ありません。サービスにご理解をもって活動くださる方はどなたでも登録できます。短時間で活動も可能です。わからないことが多い初回の活動は職員が同行します。

毎月20日に説明会を開催していますので、お気軽にお問い合わせください。説明会の予約は不要です。

秋葉区社会福祉協議会 TEL 0250-24-8376



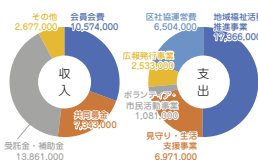
秋葉区社会福祉協議会の予算及び決算

秋葉区社会福祉協議会は、「新潟市社会福祉協議会福祉ビジョン2021」に掲げる「支えあい、ともに笑顔で暮らすまち（にいがた）」を目指し、地域の皆さまと共に地域福祉活動を展開しています。

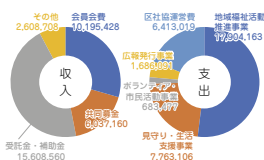
令和8年度事業概要

- 1 地区社協等との協働による地域福祉の推進
- 2 次期地域福祉活動計画の策定と住民参加の体制づくり
- 3 見守り・生活支援の推進と総合相談支援
- 4 ボランティア・市民活動の推進
- 5 広報・啓発活動の推進
- 6 組織・運営の充実

令和8年度 予算額
34,455,000 円



令和7年度 決算額
34,357,344 円



新潟市社会福祉協議会事業計画・予算及び事業報告・決算の詳細は新潟市社会福祉協議会ホームページ (<https://www.syakyo-niigatacity.or.jp/organization/business-plan>) に掲載しています。



会員会費納入にご協力をお願いします！

秋葉区社会福祉協議会では、地域の皆さまと共に地域福祉の充実を図り、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。地域の皆さまからご協力いただいた会員会費をはじめ、赤い羽根共同募金配分金、寄付金、新潟市等からの補助金・受託金を財源に事業を展開しています。

趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いいたします。

～会員加入と会費ご協力のお願い～

一般会員		賛助会員
一世帯	企業（一口）	団体（一口）
600円	5,000円	2,000円

令和7年度

会員会費のご協力
ありがとうございました！！

【令和7年度総額：12,109,210円】

一般会費 11,837,210円
賛助会費 272,000円



皆様からご協力いただいた会員会費を財源として実施しています！

地域ふれあい事業

自治会・町内会の範囲で、多世代交流（お祭り、その他地域での行事等）や助け合い活動（見守り訪問、ごみ出し支援等）の支援等を目的として、1回につき10,000円まで、年度内3回まで助成しています。

対象団体 自治会・町内会（複数の自治会・町内会での共同事業も対象）



各種助成のご案内

地域福祉活動計画推進事業



秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進に寄与する取り組み（住民全体に呼びかけ、幅広い年代が事業に参加）を実施する地区に1回につき60,000円まで、年度内3回まで助成しています。

対象団体 地区社会福祉協議会、地域コミュニティ協議会

子どもの居場所づくり活動団体支援事業

子どもの社会的孤立の防止を図ることを目的とし、地域社会の中で子どもの居場所づくりについて取り組む団体（子ども食堂、学習支援、子どもを中心とした世代間交流拠点、体験活動等）に対し、年度内1回30,000円（開催月数×2,500円）を助成しています。※定期的に月1回以上実施していることが条件で、年度内での申請も可能です。

その場合は、申請いただいた月からの年度内開催月数が助成上限額となります。



各種助成について詳細や必要な書類等については、秋葉区社会福祉協議会までお問い合わせください。

秋葉区社会福祉協議会 TEL0250-24-8376

あたたかいご寄付をありがとうございました

秋葉区内の福祉事業・活動に活用させていただきます。

（令和8年3月1日～令和8年5月31日）

寄付者氏名（敬称略）	寄付金額・物品	寄付先
渋谷一座 渋谷知栄子	10,000円	秋葉区社協
匿名	10,000円 米 5kg	秋葉区内子ども食堂

秋葉区心配ごと相談所

来所または電話相談（予約不要）

日時：毎週月・金曜日（祝日を除く）
午前10時～午後3時

場所：新潟地域交流センター 2階 相談室
TEL：0250-24-8376

どこに相談すればいい？
誰に相談すればいい？
不安や悩みごとは心配ごと相談所へご相談ください。
相談員が親身に相談に応じます。

ひとりで悩まず お気軽にご相談ください

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会

秋葉区社会福祉協議会

新潟市秋葉区新津本町1-2-39

TEL：0250-24-8376（代表）

FAX：0250-23-3322

URL：https://niigatakihaku-syakyoku.jp/

秋葉区社会福祉協議会

検索

ホームページも見てね



秋葉区社協だよりの
郵送申込みを
受け付けています

秋葉区にお住まいの方で新聞未購読等、秋葉区社協だよりが届いていない世帯で郵送を希望される方は、秋葉区社会福祉協議会までお申し込みください。また、目の不自由な方を対象に、点字版や音声版（デザインCD版）も発行しています。

